

防災訓練の結果の概要（個別訓練）

1. 訓練の目的

「濃縮・埋設事業所 濃縮事業部 原子力事業者防災業務計画」に基づき実施する個別訓練であり、原災法第15条事象に至ることを想定し、六フッ化ウラン漏えい事象等に対する対策活動に係る能力の習得・向上を目的とする。

2. 実施日時および対象施設

(1) 実施日時

2017年4月26日 ～ 2018年2月26日

(訓練ごとの実施日は「添付資料」参照)

(2) 対象施設

ウラン濃縮工場

3. 実施体制、評価体制および参加人数

(1) 実施体制

訓練毎に実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行った。

(2) 評価体制

定められた手順書等に基づき、対策活動が実施できるかを実施責任者が評価した。

(3) 訓練参加者

「添付資料」のとおり。

4. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

(1) 通報訓練

六ヶ所村内において大規模地震の発生、加工施設において六フッ化ウランの漏えいおよび管理区域内火災の発生を想定した。

(2) 救護訓練

管理区域内での負傷者、汚染の発生を想定した。

(3) モニタリング訓練

屋外への六フッ化ウランの漏えいを想定した。

(4) 避難誘導訓練

大規模地震発生に伴い、六フッ化ウランの漏えい発生を想定した。

(5) その他必要と認める訓練

① 運転管理訓練

六ヶ所村内において大規模地震の発生、加工施設において六フッ化ウランの漏えいおよび管理区域内火災の発生を想定した。

② 設備応急訓練

六フッ化ウラン漏えい発生を想定した。

③ 消防訓練

加工施設建屋外壁から屋外へ六フッ化ウランの漏えいおよび屋内外での火災の発生を想定した。

5. 防災訓練の項目

個別訓練

6. 防災訓練の内容

- (1) 通報訓練
- (2) 救護訓練
- (3) モニタリング訓練
- (4) 避難誘導訓練
- (5) その他必要と認める訓練
 - ① 運転管理訓練
 - ② 設備応急訓練
 - ③ 消防訓練

7. 訓練結果の概要

(1) 通報訓練

- ① 想定事象に関する通報文の作成を行った。
- ② 連絡責任者および本部事務局班の任務および役割分担の確認等を行った。
- ③ EALの導入に伴う、通報区分、通報様式および通報先の確認を行った。
- ④ 資機材の取扱いの確認を行った。

(2) 救護訓練

- ① 担架を用いた負傷者の搬送方法の確認を行った。
- ② 汚染者の身体サーベイ、除染、汚染拡大防止、除染機材の取扱いについて確認を行った。
- ③ 汚染発生時の運用、記録等の確認を行った。
- ④ フッ化水素に暴露した場合の措置について、対応手順の確認およびウラン・フッ化水素の化学的影響の確認を行った。

(3) モニタリング訓練

- ① 防護服装備の使用前点検、着脱手順の確認、着装訓練を行い、防護服が装着できることを確認した。
- ② チェンジングルーム設営の適切な手順（ノウハウ含む）を参加者全員で共有することで更なる設営時間の短縮を見込める。
- ③ モニタリングカーによる環境放射線のモニタリング方法および大気浮遊じんのサンプリング・測定方法について手順の確認を行った。
- ④ ARGが使用できない場合の対応について、確認を行った。

(4) 避難誘導訓練

- ① 大規模地震発生時の各配置場所担当者の対応事項の確認を行った。
- ② 管理区域内での行方不明者の探索・救助方法の確認を行った。
- ③ 防護服の装着訓練を行った。

(5) その他必要と認める訓練

① 運転管理訓練

重大事故に至るおそれのある事故を想定した中央制御室における実働訓練を行った。

② 設備応急訓練

- a. 屋外六フッ化ウラン漏えいを想定し、防護具装着訓練および重大事故用資機材（屋外）の運搬、取扱いを行い、屋外における応急復旧の活動内容を確認した。
- b. 火災発生時の対策方法および延焼防止策等の共有を行った。

③ 消防訓練

- a. 空気呼吸器の装着および化学消防車の操作について確認を行った。
- b. 無線機を使用した情報伝達方法の確認および消火器を用いた模擬消火訓練を行った。
- c. 重大事故等に対処するため、簡易化学防護服および全面マスクの着装訓練を行った。
- d. 屋外での火災を想定し、可搬式消火ポンプおよび屋外消火栓を用いた放水訓練を行った。

- e. 重大事故等に対処するため、化学消防車および屋外消火栓を使用した放水訓練（厳冬期）を行った。

8. 訓練の評価

六フッ化ウラン漏えい時対処、負傷者救助等について、対策活動が手順書どおり実施できることを確認し、対策活動に係る能力の習得・向上を図ることができた。

9. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

訓練ごとの今後の原子力災害対策に向けた改善点は添付資料のとおり。

〈添付資料〉

個別訓練の概要

以 上

個別訓練の概要

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
通報訓練	2017/8/29	①本部事務局班長 ②本部事務局班員	10名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・想定事象に関する通報文の作成を行い、適切に作成することができた。 ・連絡責任者および本部事務局班の任務および役割分担の確認等を行い、本部事務局が行わなければならない対応の再確認を行った。 ・EALの導入に伴う通報区分の確認、通報様式の確認および通報連絡先の確認を行い、EAL導入後の通報連絡に係る本部事務局の役割の変更点を確認した。 ・資機材の操作訓練を実施し、資機材を操作できることを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、定期的に訓練を行い、技量の維持・向上に努める。 ・班員全員が全ての役割を実施できるように、班内の役割分担を変更して訓練を行い、班全体の技量向上を図る。
	2017/10/31	①本部事務局班長 ②本部事務局班員	10名 (当社社員)		
	2017/11/30	①本部事務局班長 ②本部事務局班員	9名 (当社社員)		
	2018/2/26	①本部事務局班長 ②本部事務局班員	10名 (当社社員)		

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
救護訓練	2017/7/21	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	18名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> 担架を用いた負傷者の搬送方法の確認を行った。 汚染者の身体サーベイ、除染、汚染拡大防止、除染機材の取扱いについて確認を行った。 汚染発生時の運用、記録等の確認を行った。 フッ化水素に暴露した場合の措置について、対応手順の確認、ウラン・フッ化水素の化学的影響の確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、定期的に訓練を行い、技量の維持・向上に努める。 訓練で使用する除染器材を整備し、円滑に訓練できるよう取り組む。
	2017/8/31	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	22名 (当社社員)		
	2017/9/4	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	10名 (当社社員)		
	2017/9/6	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	12名 (当社社員)		
	2017/9/8	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	11名 (当社社員)		
	2017/9/15	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	10名 (当社社員)		
	2018/2/15	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	22名 (当社社員)		
	2018/2/16	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	21名 (当社社員)		

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
モニタリング訓練	2017/4/26	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	20名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・防護服装備の使用前点検、着脱手順の確認、着装訓練を行い、防護服が着装できることを確認した。 ・チェンジングルーム設営の適切な手順(ノウハウ含む)を参加者全員で共有することで更なる設営時間の短縮を見込める。 ・モニタリングカーによる環境放射線のモニタリング方法および大気浮遊じんのサンプリング・測定方法について手順の確認を行った。 ・ARGが使用できない場合の対応について、確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、定期的に訓練を行い、技量の維持・向上に努める。
	2017/6/22	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	8名 (当社社員)		
	2017/9/27	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	11名 (当社社員)		
	2018/2/15	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	23名 (当社社員)		
	2018/2/23	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	14名 (当社社員)		
	2018/2/23	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	15名 (当社社員)		
	2018/2/26	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	22名 (当社社員)		
避難誘導訓練	2017/6/30	①総務班長 ②総務班員	4名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震発生時の各配置場所担当者の対応事項の確認を行った。 ・管理区域内での行方不明者の探索・救助方法の確認を行った。 ・防護服の装着訓練を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、定期的に訓練を行い、技量の維持・向上に努める。
	2017/9/27	①総務班長 ②総務班員	23名 (当社社員)		
	2017/7/31 2017/8/3	①総務班長 ②総務班員	22名 (当社社員)		
	2018/2/26	①総務班長 ②総務班員	19名 (当社社員)		

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
運転管理訓練	2017/8/10 2017/8/14 2017/8/17 2017/8/22 2017/8/28	①運転管理班長 ②運転管理班員	42名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故に至るおそれのある事故を想定した中央制御室における実働訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、定期的に訓練を行い、技量の維持・向上に努める。
	2017/12/12 2017/12/13 2017/12/15 2017/12/20 2017/12/25	①運転管理班長 ②運転管理班員	41名 (当社社員)		
設備応急訓練	2017/7/31	①設備応急班長 ②設備応急班員	22名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> 屋外六フッ化ウラン漏えいを想定し、防護具装着訓練および重大事故用資機材(屋外)の運搬、取扱いを行い、屋外における応急復旧の活動内容を確認した。 火災発生時の対策方法および延焼防止策等の共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、定期的に訓練を行い、技量の維持・向上に努める。
	2018/2/6	①設備応急班長 ②設備応急班員	21名 (当社社員)		

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後の原子力災害対策に向けた改善点
消防訓練	2017/5/10 2017/5/24	①消火班長 ②消火班員	11名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・空気呼吸器の装着および化学消防車の操作について確認を行った。 ・無線機を使用した情報伝達方法の確認および消火器を用いた模擬消火訓練を行った。 ・重大事故等に対処するため、簡易化学防護服および全面マスクの着装訓練を行った。 ・屋外での火災を想定し、可搬式消火ポンプおよび屋外消火栓を用いた放水訓練を行った。 ・重大事故等に対処するため、化学消防車および屋外消火栓を使用した放水訓練（厳冬期）を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、定期的に訓練を行い、技量の維持・向上に努める。
	2017/8/3	①消火班長 ②消火班員	11名 (当社社員)		
	2017/8/10	①消火班長 ②消火班員	4名 (当社社員)		
	2017/8/23	①消火班長 ②消火班員	11名 (当社社員)		
	2017/9/25	①消火班長 ②消火班員	11名 (当社社員)		
	2017/10/18 2017/10/19 2017/11/6	①消火班長 ②消火班員	11名 (当社社員)		
	2018/2/5 2018/2/6	①消火班長 ②消火班員	11名 (当社社員)		
	2018/2/23 2018/2/26	①消火班長 ②消火班員	11名 (当社社員)		